カートリッジの交換方法

超水

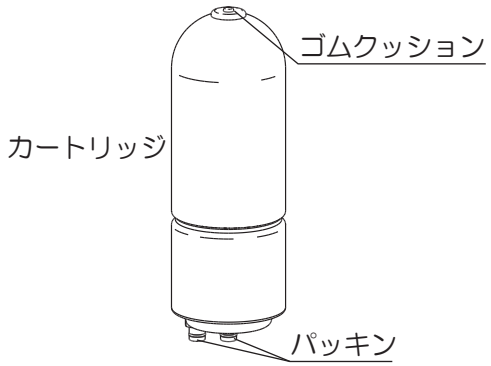
AW-2000

π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM

210709

カートリッジの交換方法

交換セット内容



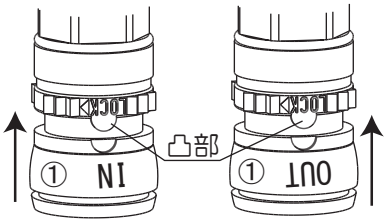
※水の検査用

残留塩素測定試薬
（1包1回分　5包入）

ご注意　残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないよう注意して下さい。

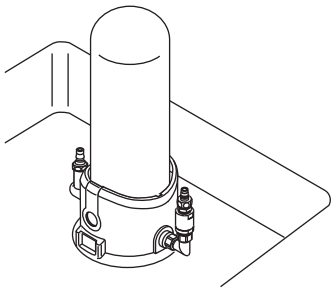
（1）浄水器を接続している専用水栓が閉まっていることを確認し、カプラを外して本体を流し台のシンク内に入れて下さい。（本体より水がでてくるため）

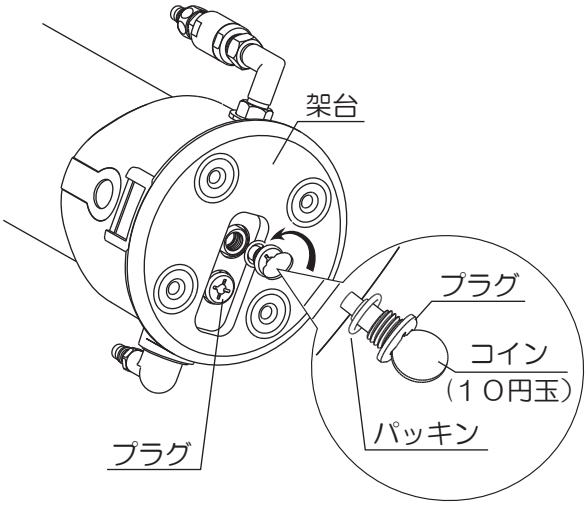
ご注意　本体は重いためお取り扱いには、充分に気をつけて下さい。



本体にセットされているＩＮ/ＯＵＴのカプラを外します。

リングの凸部を下リング溝の位置に合わせ①の部分を上に持ち上げると外れます。





ご注意　**凍りつく恐れのある場合も同様に、架台底のプラグ２個を外して、本体内の残留水を排水して下さい。**

（2）本体内の水を抜きます。

ａ 本体を斜めにし、本体底の２つのプラグをコイン（10円玉）により取り外して下さい。
（カバーキャップは付けた状態で行って下さい）

ご注意
- プラグを外すと水が出ますのでご注意下さい。
- プラグを外したときにパッキンも外れますので、なくさないようにご注意下さい。

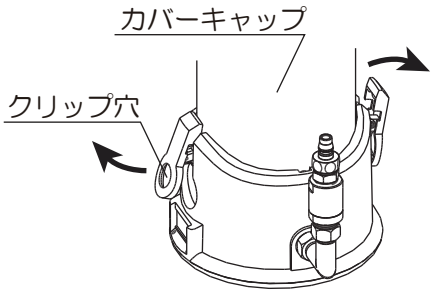
ｂ プラグを外したまま、本体を立てた状態に戻し、内部に残っている水を抜いて下さい。

※約１０分間放置して下さい。

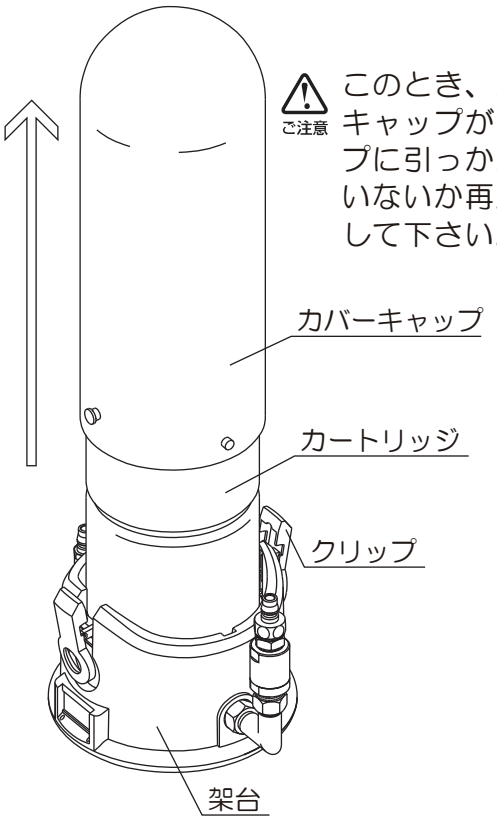
210709

(3) カバーキャップを取り外します。

a 前後にあるクリップ穴を引き、カバーキャップからクリップを引き離します。



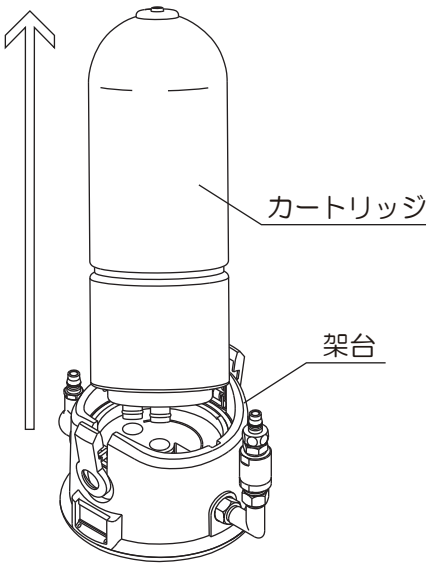
b カバーキャップを上へ持ち上げて外します。

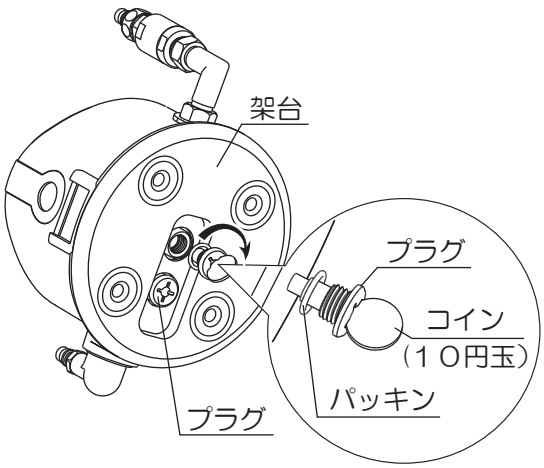


ご注意 このとき、カバーキャップがクリップに引っかかっていないか再度確認して下さい。

(4) カートリッジを持ち上げて外し架台底に外したプラグを取り付けます。

ご注意
- 残留水の排水が不十分な場合、カートリッジ内の水が漏れますのでご注意下さい。
- うまくカートリッジが外れない場合は架台を押さえながら、カートリッジを持ち上げ取り外して下さい。

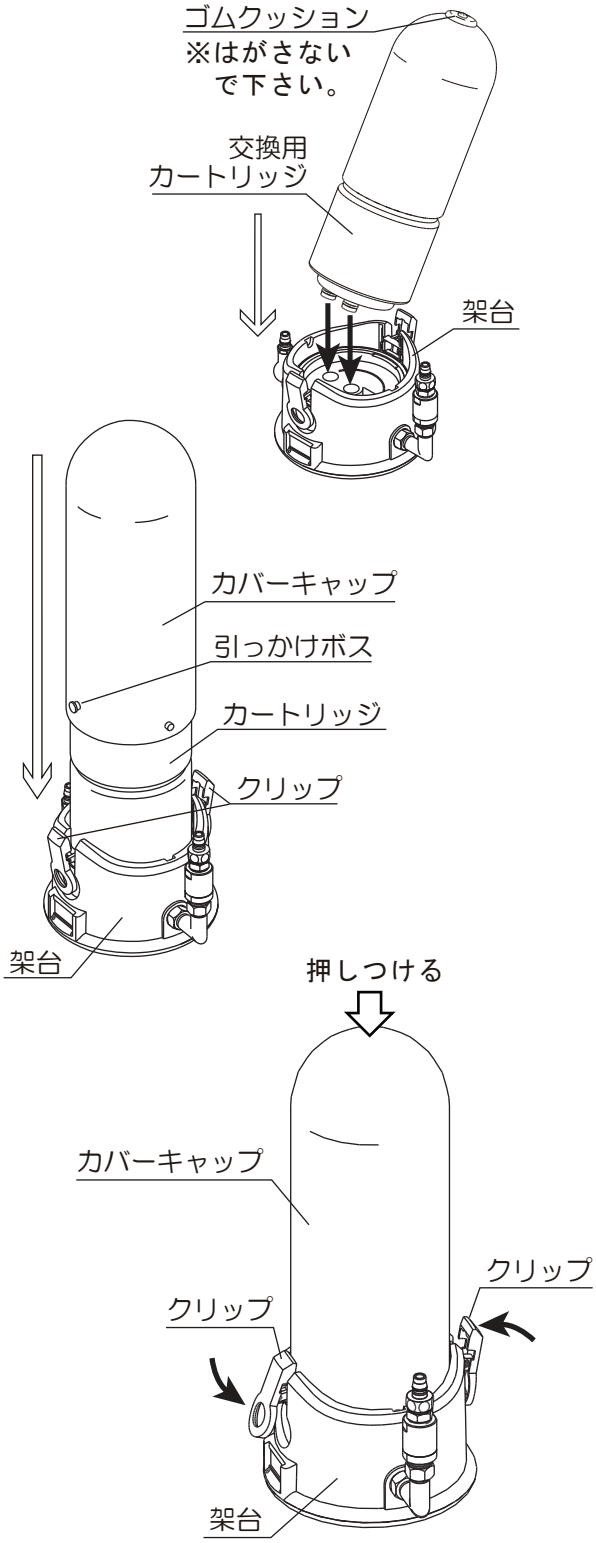




ご注意 外したプラグにパッキンがあることを再度確認してから取り付けて下さい。

210709

新しい交換用のカートリッジを準備して下さい。



(5) 本体に交換用カートリッジを差し込みます。

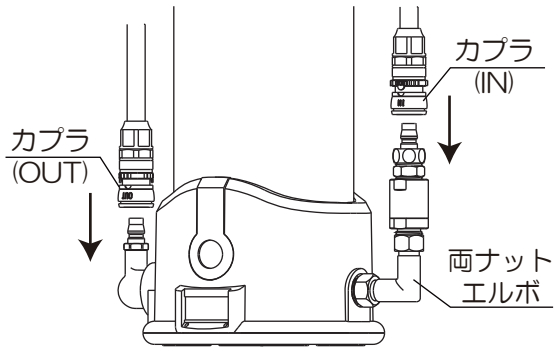
カートリッジ底の凸部と本体の丸穴を合わせて差し込み、その後上から軽く押さえて下さい。

(6) カバーキャップをセットします。

カバーキャップの引っかけボスが架台のクリップ位置にくるようにセットして下さい。

(7) カバーキャップの上部を架台押しつけながら、架台についているクリップで固定して、カプラをセットして下さい。

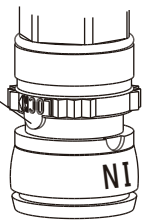
IN／OUTのカプラを本体に差し込みます。



ご注意 本体に逆流防止弁が内蔵されておりカプラを逆に差し込むと活水できません。

セイフティロック

リングの凸部が、下リングの溝から９０度横になるように回して下さい。



（8）本体を元に戻して、捨て水をして下さい。

a：元止め水栓のレバーハンドルを少し開けます。

ご注意 このとき音が鳴り、初めは水が出ませんが故障ではありません。
また、黒い水が出る場合もあります。

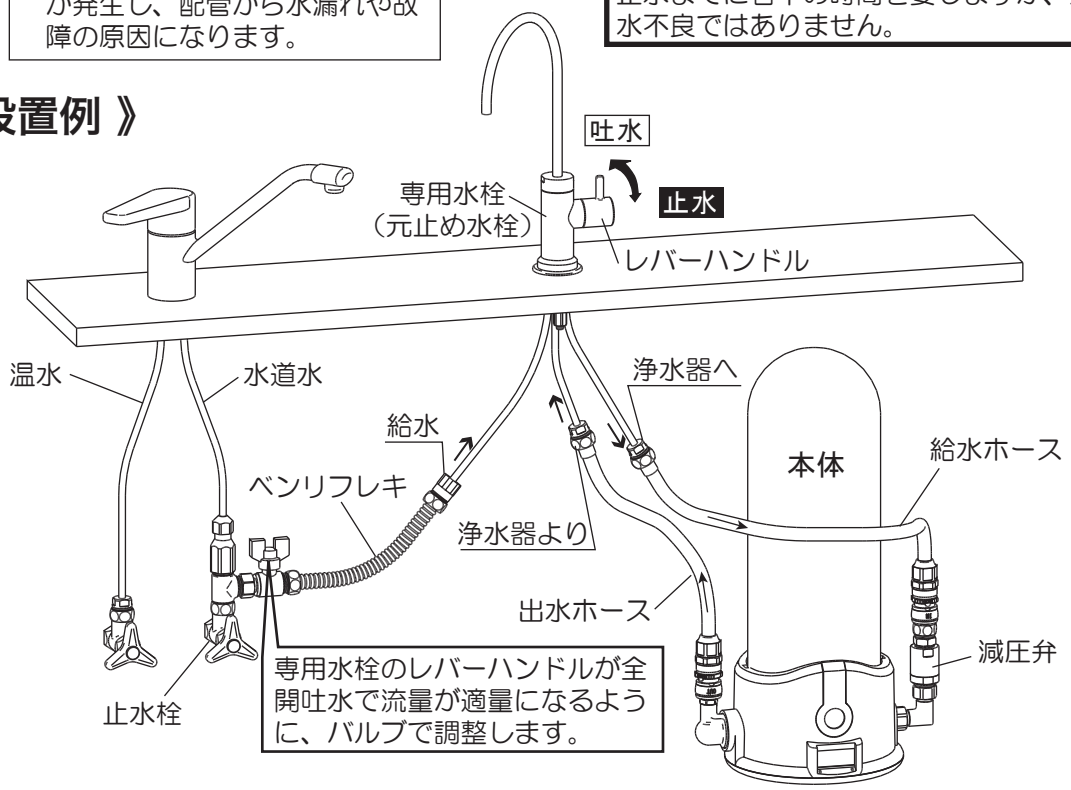
b：元止め水栓から水が出たらレバーハンドルを全開にして約２分間捨て水をして下さい。

ご注意
・本体には逆流防止弁がセットされていますので、給水ホースと出水ホースを逆に本体へ接続すると水は出ません。
・水栓を取付後、通水して水の出し止めを５～６回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れが無いことを確認して下さい。

レバーハンドルは無理な力を加えず、ゆっくり操作して下さい。
※急な操作や無理な力での操作は、ウォーターハンマー（水撃音）が発生し、配管から水漏れや故障の原因になります。

《 お願い 》
カートリッジの交換後はレバーハンドルで止水しても、通水初期は浄水器内部の空気が完全に抜ける（数日間）までは、止水までに若干の時間を要しますが、止水不良ではありません。

《 設置例 》



《 定期的な点検 》
家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、１ヵ月に１回程度、配管回りや浄水器に水漏れがないか、専用水栓の取り付け部分にガタツキが無いかを確認して下さい。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分して下さい。

210709

（9）水の検査

これは、浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

確認方法

1．コップに浄水後の水（約 50cc）を取ります。
2．付属品の残留塩素測定試薬を１袋加えます。
3．かき混ぜて、無色透明であることを確認して下さい。
（判定は１分以内で行って下さい。）

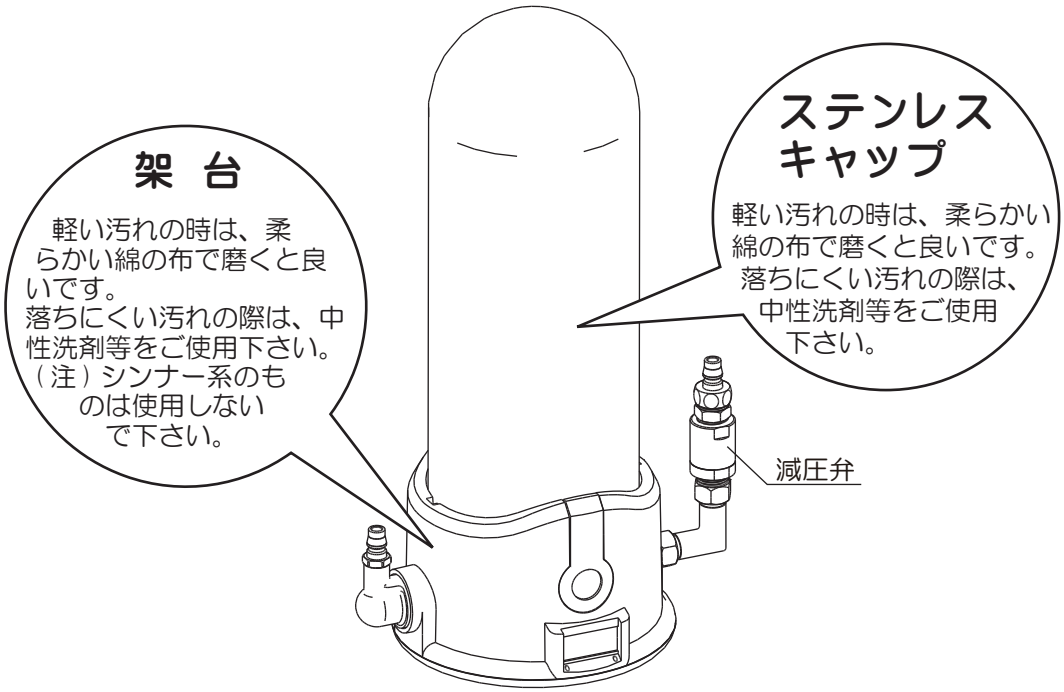
残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。 塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

※但し、５分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますのでご注意下さい。

【ご注意】

- ご使用後のコップ等は、よく洗ってからご使用下さい。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようにご注意して下さい。
- 手などに触れた場合は、石けんでよく洗って下さい。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談下さい。
- 幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

快適に末永くお使い頂くためのお手入れ方法です。



こんなときは

修理を依頼される前に確認して下さい

こんなときは	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	架台の給水口に減圧弁が付いていますか？	通水時に起きるウォーターハンマー（水撃）でカートリッジが破損することがあります。 必ず給水口に減圧弁を取り付けて下さい。	4ページ(8)
	水道直結の接続をしていませんか？	水道に直結するとカートリッジが破損して水漏れが起きますので、必ず浄水器専用水栓に取り付けて下さい。その際には、給水口に減圧弁をセットして下さい。	4ページ(8)
	カートリッジの上にゴムクッションが付いていますか？	カートリッジ上のゴムクッションを剥がすと、通水時の水圧でカートリッジが浮いて水漏れしますので、ゴムクッションを付けておいて下さい。	3ページ(5)
水が出ない又は、弱い	周辺で断水しませんでしたか？	水道管工事で発生する赤水を通水させるとカートリッジ内部が詰まり、カートリッジの交換が必要です。販売店にご相談下さい。	
	カートリッジを交換しましたか？	水道の水質により異なりますが、カートリッジ寿命付近になると、水の出が弱くなります。カートリッジの交換が必要ですので、販売店にご連絡して下さい。	
ろ過水に異物が混入する	出水管の出水部分を洗浄されましたか？	キッチンまわりは雑菌が繁殖しやすいので、定期的に出水部分をハブラシ等を使い、清潔に保って下さい。	

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

ご使用上の注意

（１）　使用水圧（動水圧）０．３５MPa以内でご使用下さい。

（２）　給水口側には、必ず減圧弁を取り付けて下さい。

（３）　凍りつく恐れのある場合は、本体内の残留水を排水して下さい。

（４）　井戸水等(水道水以外)に使用される場合は、必ずご相談下さい。

（５）　製氷器・湯沸かし器等には、連結しないで下さい。

（６）　ご使用温度は、５～３５℃にして下さい。熱湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。
万が一、熱湯を通した場合、すぐに冷水で捨て水して下さい。

（７）　朝、最初に使う場合は、約４５秒間捨て水をして下さい。
２～３日使用されなかった場合、約２分間位捨て水をして下さい。

（８）　近所で水道工事を行っている時には通水をしないで下さい。

（９）　金魚や熱帯魚等の水槽には使用しないで下さい。
・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合、魚が死んでしまう恐れがあるため。

（10）水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗って下さい。

（11）本体は、絶対にシンナーやベンジンなどで拭かないで下さい。

（12）カートリッジ交換時に、給水ホース及び出水ホースの交換(有償)を推奨します。
・使用水にミネラル分が多く含まれている場合、給水ホース内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物が剥がれて原水に混入することでカートリッジの寿命が短くなるのを防ぐため。
・浄水された水には適度のミネラル分が含まれており、出水ホース内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物が剥がれて浄水に混入し水栓から出る恐れがあるため。

■製造元　株式会社 エイ・シー・エム

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL. 03-3634-7373　FAX. 03-3634-7384

210709